TOREX IR REPORT VOL.12

第25期 報告書 2019.4.1 > 2020.3.31

巻頭特集

とあるトレックス社員の1日

CONTENTS

- P1　巻頭特集　とあるトレックス社員の1日
- P5　第25期 業績ハイライト
- P6　トップメッセージ
- P9　連結財務ハイライト
- P10　会社情報・株式情報
- 裏表紙　About トレックス Vol.12「CES 2020」に出展

TOREX

トレックス・セミコンダクター

証券コード　6616

巻頭特集

とあるトレックス社員の１日

平日 ～WEEKDAY～

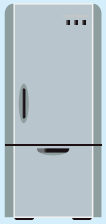
当社が提供する電源ICは、独
今回は、どのような電子機器

Morning

出勤前に朝ごはんを食べて、
テレビで今日の天気と
占いをチェック

Working

オフィスでメール確認、見積作成、
資料印刷など
今日は終日デスクワーク

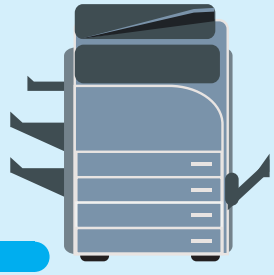


冷蔵庫

テレビ

電子レンジ

パソコン
マウス
キーボード



コピー機

自の省電力・小型化技術で、私たちの生活における様々なシーンの電子機器に採用されています。
に支えられて日々過ごしているかをトレックスに勤める社員の１日に密着してご紹介していきます。

Shopping

仕事終わりに
行きつけのスーパーへ
今夜何を食べるか、
おなかと相談

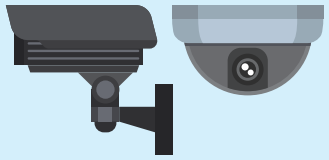
Relaxing

至福のリラックスタイム
休日に向けてVRゴーグルを
インターネットで物色

スマートカード

POSレジ

POS端末



監視カメラ

タブレット

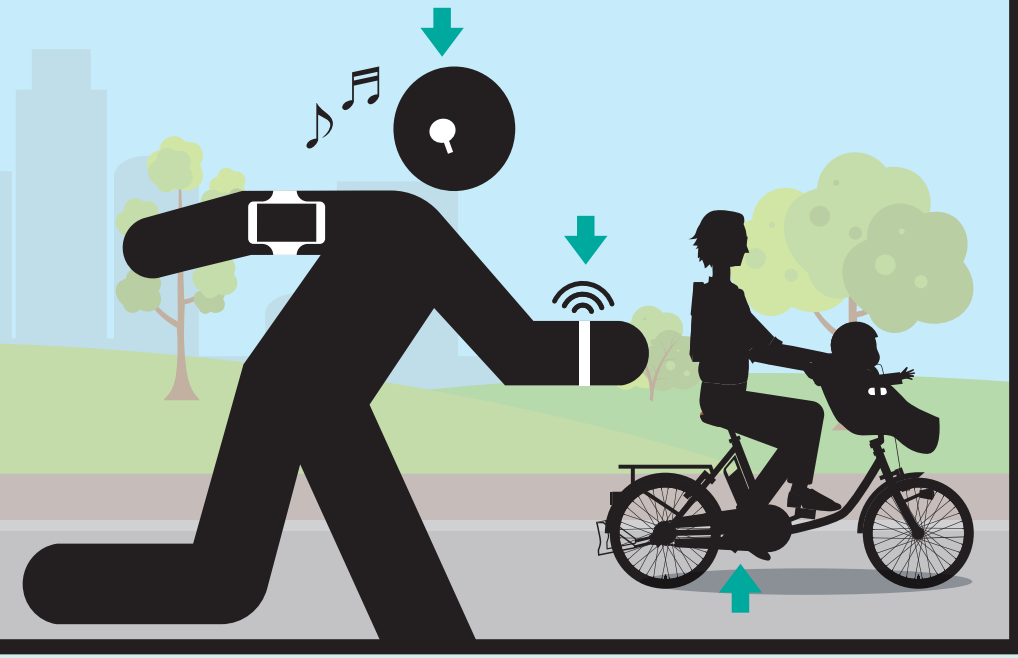
エアコン

スマートスピーカー

とあるトレックス社員の１日
休日 ～HOLYDAY～

Jogging

休日はジョギングでスタート
今日は快晴で気分爽快

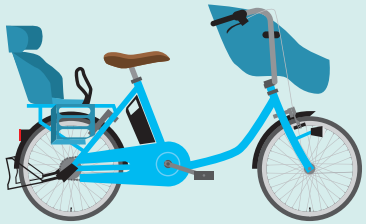


Outing

一通り家事も終わり、
ちょっとそこまでひとっ走り

ワイヤレスイヤホン

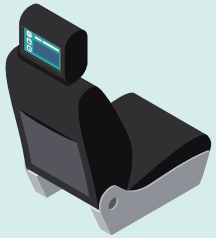
スマートウォッチ



電動アシスト自転車

キーレスエントリー

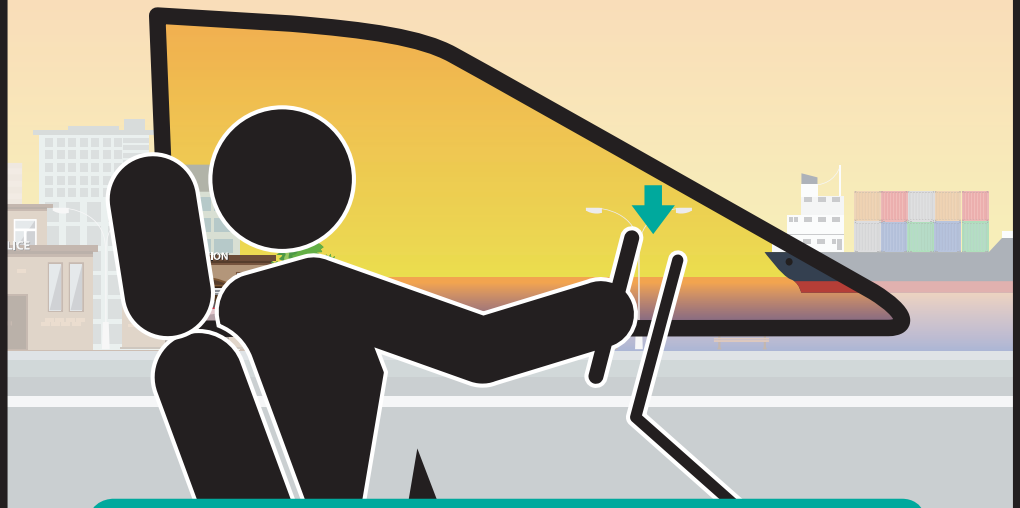
ドライブレコーダー

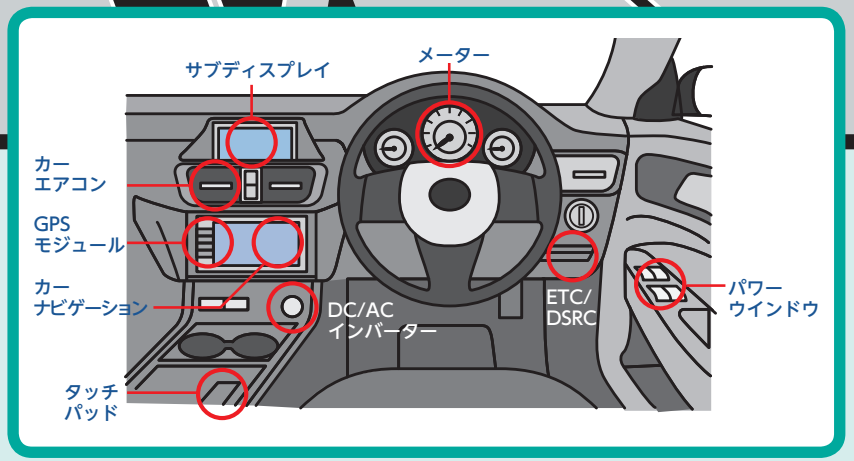


後部座席モニター

Driving

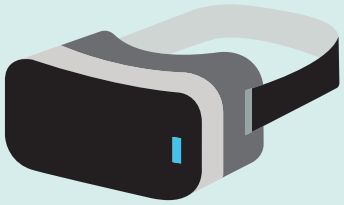
気づけば夕日が沈む海を横目に
ロングドライブ





Playing

届いたVRゴーグルを早速装着し、
明日の仕事に向けて気分転換



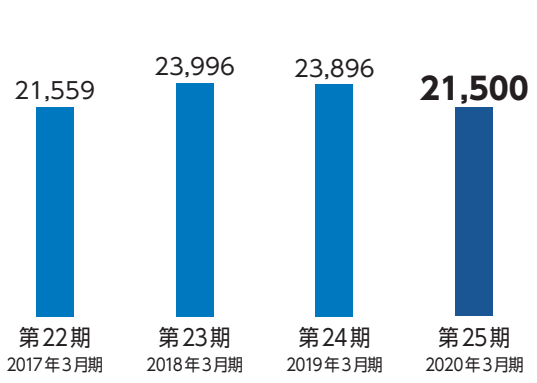
VRゴーグル

ゲーム機

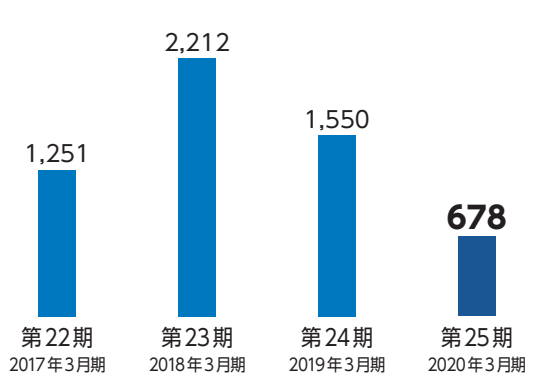
コントローラー

第25期 業績ハイライト

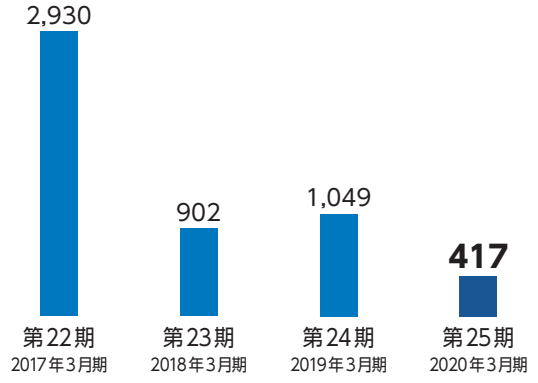
売上高(単位：百万円)



営業利益(単位：百万円)



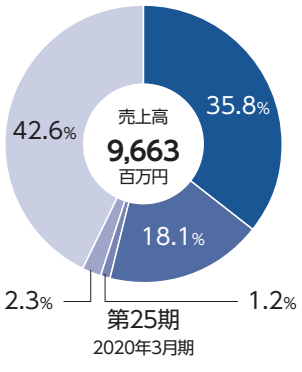
親会社株主に帰属する当期純利益(単位：百万円)



TOREX

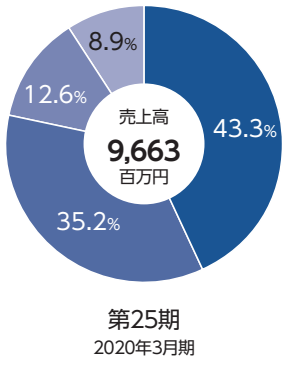
アプリケーション別売上高

■産業機器 ■車載機器 ■医療機器
■ウェアラブル機器 ■その他



地域別売上高

■日本 ■アジア ■欧州
■北米

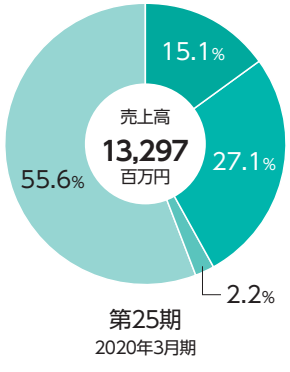


Phenitec

For Further Growth Together

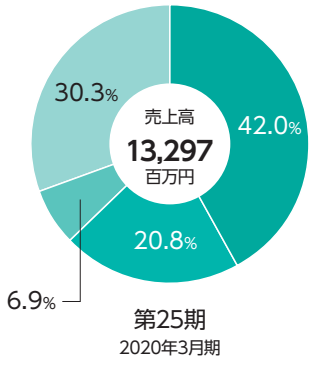
アプリケーション別売上高(参考値)

■産業機器 ■車載機器 ■医療機器
■ウェアラブル機器 ■その他



地域別売上高

■日本 ■アジア ■欧州
■北米



※ トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含みます。

中長期の成長に向けて、変化を克服し「強み」の深掘りを進めていきます。

代表取締役 社長執行役員

芝宮 孝司

ごあいさつ

このたびの新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになった方々に謹んでお悔み申し上げます。罹患された方々が一日も早く回復され、また感染症が収束し、平穏な生活が戻りますことをお祈りいたします。

第25期（2020年3月期）の市場環境は、米中貿易摩擦等を背景とする厳しさが続き、第4四半期には新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が表れました。当社グループの営業状況も、産業機器向けを中心に低調に推移し、結果として連結業績は、売上高215億円（前期比10.0％減）、営業利益6億78百万円（同56.3％減）、経常利益6億76百万円（同62.8％減）、親会社株主に帰属する当期純利益4億17百万円（同60.2％減）となりました。

今後の市場環境は、感染症による影響は不可避と見られ、先の見通しが困難な状況にあります。当社グループは、状況を注視しつつスピーディーかつ的確な経営判断により対応し、災厄の克服を目指す社会を支えながら、業績の回復に努めてまいります。

Q 第25期を振り返り、営業状況について総括願います。

A **産業機器向けを中心に低調に推移。想定を下回り大幅な減収・減益となりました。**

半導体・電子部品関連市場は、前期後半から米中貿易摩擦等の影響による調整局面が続き、第25期は第2四半期から需要回復に向かいつつありましたが、年が明けて2月に入ると、新型コロナウイルス感染症の拡大により中国で都市封鎖が行われ、部材供給の流れが停止したことなどによる影響を受けました。

当社グループの営業状況においては、重点分野のうち車載機器向けがETCやドライブレコーダーへの採用で受注を伸ばし、堅調に推移しましたが、産業機器向けは市場の停滞を受け、売上が大きく落ち込みました。

事業会社別の状況を述べますと、半導体受託製造を担うフェニテックセミコンダクター（以下、フェニテック）は、北米および中華圏に

為替レートの推移

	2019年3月期	**2020年3月期**
平均為替レート（1米ドル）	110.7円	**109.1円**

おける受注・売上が減少し、工場の稼働率低下に加え、工場統合に伴う減価償却費の増加も生じたことから大幅減益となりました。フェニテックを除く旧トレックスグループ(以下、トレックス)は、車載機器向けが中国および日本国内で売上を伸ばしながらも、産業機器向けの売上が低調に推移したため、減収・減益となりました。

Q 業績回復に向けた今後の経営方針をご説明願います。

A **「強み」の再認識・再構築・強力発信を打ち出し、成長への変革を進めていきます。**

当社グループは、市場の変化に対応し、生き残っていくための経営方針として、「強み」の再認識・再構築・強力発信を打ち出した変革を進めていきます。

ファブレスの電源IC専業メーカーであるトレックスと、パワーディスクリート製品のファンドリーであるフェニテックの2社を中核とする当社グループは、製造工程の外部化と自社所有の両方を備えています。それぞれのメリットを併せ持つ生産体制により、投資額を抑えながら新技術への早期対応が可能であり、これが他社にない大きな「強み」となっています。

また、これまで電源ICに特化し、小型化・低消費電力化・高効率化・低ノイズ化など、市場に求められる多くの技術を蓄積してきたことで、製品企画・開発において優れた「強み」を発揮します。最近の実績では、注力している「XCL(コイル一体型DC/DCコンバータ)」が成果を上げ、前期比19%増の売上成長を遂げました。パワーデバイスでは、フェニテック独自の開発による「SiC(シリコンカーバイド)デバイス」が製品化を間近に控え、今期(第26期)中の量産開始を目指しています。

そして当社グループは、他社との協業・技術協力を積極的に取り入れ、新分野への参入に必要な「強み」を確保しています。当期は、インドでアナログ半導体製品を開発するファブレスメーカー、Cirel Systems Pvt. Ltd.と提携し、開発リソースを強化しました。さらに米国のベンチャー企業、MATRIX Industries, Inc.と協業し、同社が持つエナジーハーベスト技術(光、振動、熱など身の回りのわずかな環境エネルギーを集め、発電する技術)を活かした事業展開を目指しています。

今期は、機構改革により、新たに「製品企画・海外統括本部」を設置し、重点市場の上流に位置する分野に参入すべく、グローバルな協業展開に向けた体制を整備します。

今後、ここに挙げた独自の「強み」を磨き上げながら、市場に合わせて優位性を組み合わせた再構築を実施し、顧客の獲得と取引の拡大に向けて強く訴求していきます。

Q 新型コロナウイルス感染症による事業への影響についてお聞かせください。

A **今後、さまざまな形で影響が拡大する可能性があり、状況を注視していきます。**

当社グループでは、政府および自治体による緊急事態宣言の発令に先立ち、2020年3月より従業員の感染防止対策として、在宅勤務の導

入や時差出勤の実施、拠点間の接触禁止などを実施し、現在も状況を注視しつつ対応を継続しています。これらの取り組みにより、事業活動に一定の制約を受けているものの、足もとの営業状況について述べますと、感染症による影響は今のところ大きな形で表れておらず、限定的な範囲にとどまっています。

生産面では、トレックスにおいて中国の後工程委託会社の稼働が一時的に低下しましたが、現状はほぼ回復しています。フェニテックの方は、岡山工場・鹿児島工場ともに影響なく、約8割程度の稼働率を維持しています。販売面では、当期の営業状況として述べました通り、第4四半期にトレックスが中国の都市封鎖による影響を受け、フェニテックも今期に入り車載分野で受注の減少傾向が見られます。

その一方でプラス影響として、感染症対応によるリモートワーク関連機器の需要が高まり、カメラモジュールの受注が拡大しています。また、感染症対策にかかわる医療機器用の短納期受注が増大したほか、医療現場で用いられるIoT関連製品の引き合いも増加し、新たな事業機会となっています。

しかし今後の事業環境については、依然として感染症収束の見通しが立たない中、企業収益の悪化や外出自粛による世界的な経済活動の停滞が当社グループ事業に影響を与える可能性があり、予断を許さない状況にあります。

そのため当社グループは、感染症による影響の長期化や急速な変化などのリスクに備えた資金政策として、今期に入り金融機関から40億円の借入れを実施するとともに、既存のコミットメントライン枠10億円と合わせて、手元資金の確保につとめております。

Q 第26期の見通しはいかがでしょうか？

A **中長期の成長に向けて「強み」の深掘りを推進。業績予想は未定としています。**

半導体市場においては、長期的には需要が拡大する見込みは変わらないものの、これまで述べてきました通り、新型コロナウイルス感染症の影響による懸念が拡がり、国内外の景気見通しは不透明感が増しています。

こうした中で当社グループでは、引き続き重点市場への注力と高付加価値製品の強化を推進しつつ、新たな経営方針として打ち出した「強み」の再認識・再構築・強力発信を着実に遂行し、市場の変化に対応していきます。今期は、近年進めてきたフェニテックの工場統合がいよいよ完了し、生産効率の向上とコスト低減による高収益化が新たな「強み」として寄与するものと期待しています。

そして中長期視点の取り組みとして、当社グループが持つ「強み」をさらに深掘りし、価値を高めながら、市場に求められる製品を先んじて生み出せる体制を築いていきます。

なお、今期の連結業績予想については、現時点で新型コロナウイルス感染症による影響の程度を見極め、適正かつ合理的に想定することは困難と判断し、未定とさせていただきました。今後、予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

Q 株主・投資家の皆様にお伝えしたいメッセージをお願いします。

A **新たな価値提供を通じて飛躍を遂げ、豊かな未来づくりに貢献してまいります。**

今回の期末配当は、安定配当の継続を優先し、予定通り1株当たり20円とさせていただきました。これにより年間配当額は、同額の中間配当と合わせて同40円となりました。

現在、私たちを取り巻く事業環境は、未曽有の状況に置かれていますが、長期的な視点から見れば、半導体市場が持つ高い成長性が損なわれることは決してあり得ません。当社グループは、これからも新たな価値提供を通じて飛躍を遂げ、自らの企業価値を高めながら、豊かな未来づくりに貢献してまいります。

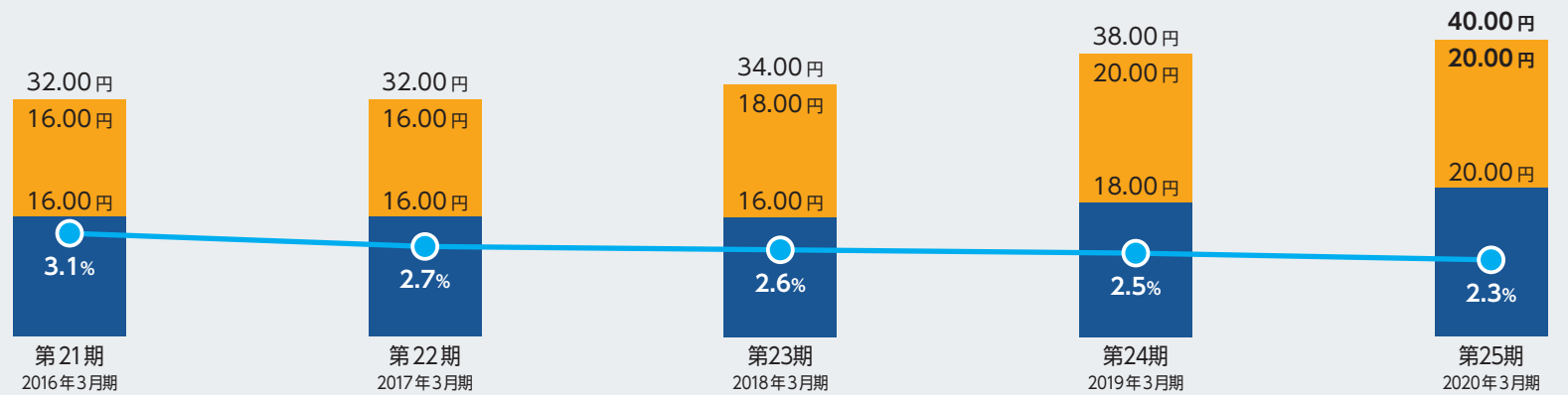
株主の皆様におかれましては、今後とも長きにわたり当社グループへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結財務ハイライト

		第22期	第23期	第24期	**第25期**
		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	**2020年3月期**
売上高	(千円)	21,559,622	23,996,944	23,896,699	**21,500,955**
営業利益	(千円)	1,251,098	2,212,324	1,550,962	**678,161**
売上高営業利益率	(%)	5.8	9.2	6.5	**3.2**
経常利益	(千円)	905,707	1,998,187	1,820,249	**676,222**
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	2,930,551	902,176	1,049,117	**417,513**
総資産額	(千円)	25,209,563	27,995,000	28,385,653	**27,846,962**
純資産額	(千円)	15,597,571	19,085,463	19,638,097	**18,671,901**
自己資本比率	(%)	45.3	51.8	69.0	**67.1**
自己資本利益率（ROE）	(%)	26.3	7.0	6.2	**2.2**
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,635,310	2,335,353	2,699,779	**1,144,832**
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,714,677	△697,406	△3,256,749	**△1,549,839**
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△994,266	1,151,752	△928,319	**△1,176,672**
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	9,714,789	12,280,327	10,883,205	**9,172,228**
1株当たり当期純利益金額	(円)	308.77	99.44	95.89	**38.03**
1株当たり純資産額	(円)	1,267.65	1,338.74	1,717.90	**1,712.30**
1株当たり配当額	(円)	32	34	38	**40**
配当性向	(%)	10.7	34.2	39.6	**105.2**

※ 売上高には、消費税等は含まれておりません。

■ 配当金の推移 ■中間配当 ■期末配当 ●株主資本配当率(DOE)



■ 会社情報 (2020年3月31日現在)

会社概要

社　　名	トレックス・セミコンダクター株式会社
所 在 地	東京都中央区新川1-24-1 ユニゾ新川永代通りビル3F
設　　立	平成7年(1995年)3月
資 本 金	29億6,793万円
事業内容	1. 半導体デバイスの開発、設計製造 2. 半導体デバイスの販売
従業員数	連結／1,016名　個別／172名

役員一覧 (2020年6月24日現在)

■ 取締役（監査等委員である取締役を除く）

代表取締役 社長執行役員	芝宮孝司（しばみやこうじ）
取締役 常務執行役員	木村岳史（きむらたけし）
取締役 執行役員	日笠基（ひかさもとい）
取締役 執行役員	宮田敬史（みやたたかし）
取締役	石井弘幸（いしいひろゆき）

■ 監査等委員である取締役

常勤監査等委員(社外)	池田耕太郎（いけだこうたろう）
監査等委員(社外)	小松熙（こまつひろし）
監査等委員(社外)	川俣尚高（かわまたなおたか）
監査等委員(社外)	清水満昭（しみずみつあき）

■ 株式情報 (2020年3月31日現在)

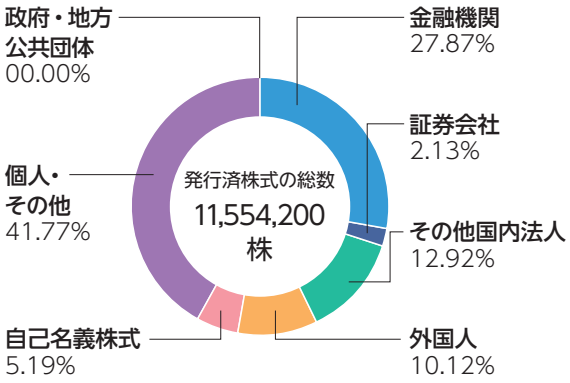
株式の状況

発行可能株式総数..... 36,673,600 株

発行済株式の総数..... 11,554,200 株

株主数 ..... 2,931 名

所有者別株式分布



大株主（上位 10 名）

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,168	10.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	719	6.57
THE BANK OF NEW YORK 133652	577	5.27
藤阪　知之	500	4.57
株式会社中国銀行	472	4.31
アルス株式会社	452	4.13
吉備興業株式会社	397	3.63
尾崎　貴紀	321	2.93
芝宮　孝司	293	2.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	222	2.03

※1 当社は、自己株式を599,628株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	3月31日
期末配当金株主確定日	3月31日
中間配当金株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内 一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内 一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先・連絡先	(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 (連絡先) 0120-782-031
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 https://www.torex.co.jp/

About トレックス

アバウト・トレックス　**Vol.12**

TOREXにまつわる色々なことをご紹介します。

「CES 2020」に出展

当社は、2020年1月7日から1月10日までの4日間、ラスベガスで開催された「CES 2020」に出展しました。CESは、毎年1月、全米民生技術協会が主催する世界最大級のコンシューマーエレクトロニクスの見本市です。

今回の出展では、ワイヤレスデバイスとIoTデバイスに適した小型で低消費電力の電源ICの最新製品をご紹介しました。

また熱電エネルギーのスペシャリストであるMATRIX Industriesと超広帯域ノイズ抑制フィルターの専門家であるTransSipが提携企業として共同出展し、電源ICを搭載した製品のデモを行いました。

このほか当社の電源ICと日本ガイシ株式会社（以下「日本ガイシ」）が提供する「EnerCera」シリーズ電池を使用した高温実装可能な小型電源モジュールサンプルを共同で出展しました。

日本ガイシの超小型・薄型でデバイスへの高温実装が可能という特徴を持つ「EnerCera」シリーズと、当社電源ICの超低消費、超小型薄型パッケージという特徴を組み合わせることにより、IoTデバイスやスマートカードに最適なリファレンスデザインの提供が可能になっております。

今後もイベント、展示会へ積極的に出展し、製品の拡販を行ってまいります。

※「EnerCera」シリーズ：電極に独自の結晶配向セラミックス板を使用したリチウムイオン二次電池

当社の最新情報はWEBサイトでご覧いただけます。

トレックス

https://www.torex.co.jp/

トップページ

IR情報　https://ir.torex.co.jp

トレックス・セミコンダクター株式会社
〒104-0033　東京都中央区新川1-24-1
ユニゾ新川永代通りビル3F
TEL　(03)6222-2851

UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK
環境に配慮した植物油インキを使用しています。

FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915